



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東
 コード番号 2418 URL http://www.tsukada-global.holdings
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 山崎誠広 TEL 03-5464-0081
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 平成29年9月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	26,171	1.0	753	112.2	691	—	159	—
28年12月期第2四半期	25,910	4.8	354	△77.4	△269	—	△389	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 △96百万円 (—%) 28年12月期第2四半期 △1,000百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	3.34	2.98
28年12月期第2四半期	△8.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	84,039	33,876	38.5
28年12月期	84,752	34,228	38.5

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 32,330百万円 28年12月期 32,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年12月期	—	5.00	—	—	—
29年12月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,600	9.5	4,300	22.3	4,500	25.0	2,800	43.4	58.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	48,960,000株	28年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	1,259,834株	28年12月期	1,259,834株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	47,700,166株	28年12月期2Q	48,689,871株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済政策の効果により、個人消費の持ち直しや企業収益及び雇用情勢の改善など緩やかな回復基調で推移したものの、中国をはじめとするアジア新興国等の経済・政策に関する不確実性の存在など、先行きについては引き続き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループはブライダル市場、ホテル市場並びにウェルネス&リラクゼーション(W&R)市場における新たな価値の創造、高品質かつ魅力あふれる店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に取り組み、個性化・多様化するお客様のニーズに的確に対応することで、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。当該方針に基づき、当第2四半期連結累計期間においては、沖縄県への初進出や新店である「ザ ストリングス表参道」(東京都港区)及びW&R事業においては総合フィットネスクラブ「BEST STYLE FITNESS」(千葉県浦安市)の開業準備など今後の収益・事業エリアの拡大を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、26,171百万円(前年同四半期比1.0%増)となり、利益面につきましては、営業利益753百万円(同112.2%増)、経常利益691百万円(前年同四半期は経常損失269百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益159百万円(同 親会社株主に帰属する四半期純損失389百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

当第2四半期連結累計期間においては、主力であるゲストハウスにおける施行組数減少により売上高は微減となりましたが、昨年より取り組んでまいりましたコストダウン施策の効果によりセグメント利益は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は15,952百万円(前年同四半期比0.5%減)、セグメント利益は1,616百万円(同7.6%増)となりました。

② ホテル事業

当第2四半期連結累計期間においては、ホテル婚礼において施行組数が微減となりましたが、宿泊稼働率、単価は総じて堅調に推移したことにより売上高は増加し、セグメント利益においては婚礼事業同様コストダウン施策の効果や開業費用が発生しなかったことにより増加となりました。

この結果、当セグメントの売上高は8,533百万円(前年同四半期比0.3%増)、セグメント利益は240百万円(同32.5%増)となりました。

③ W&R事業

当第2四半期連結累計期間においては、複合温泉施設「美楽温泉SPA-HERBS」の通期(四半期)稼働により売上高は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は1,685百万円(前年同四半期比22.9%増)、セグメント損失は235百万円(前年同四半期はセグメント損失269百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ713百万円減少して、84,039百万円となりました。これは主に、減価償却費及び減損損失の計上により有形固定資産が596百万円、無形固定資産が154百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ361百万円減少して、50,163百万円となりました。これは主に、前受金が460百万円増加しましたが、納税等により未払法人税等が424百万円及び未払金の減少等により流動負債のその他が413百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ352百万円減少して、33,876百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が159百万円あったものの前年度の期末配当238百万円により利益剰余金が79百万円減少したこと及び為替換算調整勘定が195百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ20百万円減少し、15,360百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は1,955百万円（前年同四半期比34.6%増）となりました。これは主に、法人税等の支払額が1,130百万円ありましたが、減価償却費が1,660百万円、税金等調整前四半期純利益が531百万円及び前受金の増加額が466百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,678百万円（前年同四半期比79.7%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1,651百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は238百万円（前年同四半期は3,974百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が5,943百万円及び社債の発行による収入が488百万円ありましたが、長期借入金の返済による支出が5,995百万円、社債の償還による支出が412百万円及び配当金の支払額が238百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績予想に基づき、平成29年8月7日に「平成29年12月期 第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。今後、マーケット環境の変化も予想されますことから、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,468	15,448
売掛金	966	867
有価証券	—	142
商品	114	103
原材料及び貯蔵品	506	565
その他	2,008	2,144
貸倒引当金	△64	△40
流動資産合計	19,000	19,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,597	22,972
土地	21,156	20,804
その他(純額)	2,585	2,965
有形固定資産合計	47,338	46,742
無形固定資産		
のれん	2,271	2,138
その他	272	250
無形固定資産合計	2,543	2,388
投資その他の資産		
投資有価証券	3,058	2,936
敷金及び保証金	8,649	8,678
その他	4,062	3,963
投資その他の資産合計	15,771	15,578
固定資産合計	65,653	64,710
繰延資産	98	98
資産合計	84,752	84,039

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,362	2,270
1年内返済予定の長期借入金	13,062	9,767
1年内償還予定の社債	824	886
未払法人税等	1,112	687
前受金	1,336	1,797
その他	3,366	2,953
流動負債合計	22,065	18,362
固定負債		
社債	3,684	3,710
転換社債型新株予約権付社債	5,000	5,000
長期借入金	15,747	18,990
退職給付に係る負債	332	359
役員退職慰労引当金	702	720
資産除去債務	2,339	2,359
その他	652	660
固定負債合計	28,459	31,800
負債合計	50,524	50,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	32,090	32,011
自己株式	△892	△892
株主資本合計	32,304	32,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△58	△70
為替換算調整勘定	376	180
退職給付に係る調整累計額	△3	△4
その他の包括利益累計額合計	313	105
非支配株主持分	1,610	1,545
純資産合計	34,228	33,876
負債純資産合計	84,752	84,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	25,910	26,171
売上原価	18,574	18,275
売上総利益	7,336	7,895
販売費及び一般管理費	6,981	7,142
営業利益	354	753
営業外収益		
受取利息	30	17
受取配当金	18	13
匿名組合投資利益	74	80
投資有価証券償還益	122	—
不動産賃貸収入	36	122
為替差益	—	54
その他	44	41
営業外収益合計	326	329
営業外費用		
支払利息	124	115
デリバティブ評価損	256	195
為替差損	539	—
その他	29	79
営業外費用合計	950	390
経常利益又は経常損失(△)	△269	691
特別利益		
固定資産売却益	0	0
役員退職慰労引当金戻入額	14	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	3	—
特別利益合計	17	0
特別損失		
固定資産除却損	48	10
店舗閉鎖損失	1	0
投資有価証券売却損	117	—
減損損失	—	149
特別損失合計	167	160
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△419	531
法人税等	△15	358
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△404	173
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	13
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△389	159

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△404	173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△78	△11
為替換算調整勘定	△516	△257
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△596	△270
四半期包括利益	△1,000	△96
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△894	△48
非支配株主に係る四半期包括利益	△106	△48

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△419	531
減価償却費	1,724	1,660
のれん償却額	133	133
社債発行費償却	10	11
固定資産除却損	48	10
デリバティブ評価損益(△は益)	256	195
投資有価証券償還損益(△は益)	△122	—
投資有価証券売却損益(△は益)	117	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△23
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	20	26
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6	18
受取利息及び受取配当金	△48	△30
支払利息	124	115
匿名組合投資損益(△は益)	△74	△80
為替差損益(△は益)	517	△57
減損損失	—	149
売上債権の増減額(△は増加)	23	13
たな卸資産の増減額(△は増加)	21	△47
仕入債務の増減額(△は減少)	△124	△68
前受金の増減額(△は減少)	551	466
その他の負債の増減額(△は減少)	△228	△304
その他	355	456
小計	2,881	3,177
利息及び配当金の受取額	44	22
利息の支払額	△125	△114
法人税等の支払額	△1,347	△1,130
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,452	1,955

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,958	△1,651
無形固定資産の取得による支出	△82	△26
投資有価証券の取得による支出	△300	△257
投資有価証券の売却による収入	493	26
投資有価証券の償還による収入	436	—
匿名組合出資金の払戻による収入	311	279
貸付けによる支出	△106	△20
貸付金の回収による収入	1	39
敷金及び保証金の差入による支出	△155	△111
敷金及び保証金の回収による収入	175	4
長期前払費用の取得による支出	△49	△0
その他	△23	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,256	△1,678
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,200	5,943
長期借入金の返済による支出	△1,575	△5,995
社債の発行による収入	977	488
社債の償還による支出	△362	△412
自己株式の取得による支出	△307	—
非支配株主への配当金の支払額	—	△16
配当金の支払額	△244	△238
非支配株主からの払込みによる収入	1,335	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△44	—
その他	△4	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,974	△238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△65	△58
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,895	△20
現金及び現金同等物の期首残高	17,863	15,380
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	249	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,218	15,360

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	婚礼事業	ホテル 事業	W&R 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,027	8,512	1,371	25,910	—	25,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	605	203	—	808	△808	—
計	16,632	8,716	1,371	26,719	△808	25,910
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,502	181	△269	1,415	△1,060	354

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,060百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,071百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	婚礼事業	ホテル 事業	W&R 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,952	8,533	1,685	26,171	—	26,171
セグメント間の内部売上高又は振替高	591	142	—	734	△734	—
計	16,544	8,676	1,685	26,905	△734	26,171
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,616	240	△235	1,622	△869	753

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△869百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△884百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「婚礼事業」及び「W&R事業」セグメントの一部の固定資産において収益性が低下した状態が続いており、当第2四半期連結累計期間において投資の回収が見込めないと判断したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「婚礼事業」セグメントで139百万円、「W&R事業」で10百万円であります。

3. 補足情報

施行、受注及び販売の状況

(1) 婚礼施行実績

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	前連結会計年度 (自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
婚礼事業	5,269	5,367	11,401
ホテル事業	862	843	1,799
合計	6,131	6,210	13,200

(2) 婚礼受注状況

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)		前連結会計年度 (自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)	
	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)
セグメントの名称						
婚礼事業	6,324	7,071	6,823	7,634	11,563	6,178
ホテル事業	959	1,339	957	1,371	1,814	1,257
合計	7,283	8,410	7,780	9,005	13,377	7,435